

令和7年度 第1回役員会議事要旨

日 時 令和7年4月15日（火）14時27分～15時23分
場 所 大会議室
出席者 松田学長、佐藤理事、桃野理事、増田理事
欠席者 なし
出席オブザーバー 吉田事務局長・副学長、川村副学長、花島副学長、董副学長、市村副学長、相田監事、
谷口監事
欠席オブザーバー なし

前回の役員会の議事要旨及び発言内容記録については、議事要旨及び発言内容記録として確認された。

－ 協議事項 －

1 創立記念学術振興・国際交流基金予算及び実施事業について

増田理事から、資料1に基づき創立記念学術振興・国際交流基金予算及び実施事業について提案があり、協議の結果、原案のとおり教育研究評議会に付議することとされた。

（主な協議内容）

創立記念学術振興・国際交流基金（以下、「国際交流基金」という。）による支援事業（国際交流基金規則第3条の第5種留学生への援助）について、令和6年度決算書（案）は以下のとおりである。令和7年度予算書（案）は、奨学金支給枠を見直した上で、その財源にはニッタ株式会社からの寄附金を充て、本基金の運用利息は使用しないこととする。

【令和6年度決算額（支援事業合計額）：985万円】

・奨学金支援人数：38名（DC4名、MC20名、学部5名、短期留学生9名）

【令和7年度予算額（支援事業合計額）：1,020万円】

・奨学金支給枠：30名→42名

DC3名→6名（2名／学年×3学年）、MC14名→20名（10名／学年×2学年）、

学部5名→14名（3名／学年×4学年＋編入学2名）、短期留学生8名→2名

※支給月額3万円→2万円、支給期間1年間（短期留学生は月額5万円、最長6か月まで）

資料1-1 創立記念学術振興・国際交流基金予算及び実施事業について

資料1-2 令和6年度創立記念学術振興・国際交流基金決算書（案）

資料1-3 令和7年度創立記念学術振興・国際交流基金予算書（案）

資料1-4 室蘭工業大学創立記念学術振興・国際交流基金規則

2 名誉教授の選考について

佐藤理事から、資料2に基づき名誉教授の選考について提案があり、協議の結果、原案のとおり教育研究評議会に付議することとされた。

(主な協議内容)

令和7年3月31日付けで退職した1名の者に本学名誉教授の称号を付与する。

資料 2-1 名誉教授の選考について

資料 2-2 名誉教授推薦調書(清水)【閲覧制限】

3 令和7年度の教員配置計画について

佐藤理事から、資料3に基づき令和7年度の教員配置計画について提案があり、協議の結果、原案のとおり教育研究評議会に付議することとされた。

(主な協議内容)

令和7年度の教員配置計画を策定する。

採用方針等については以下のとおりである。

- ・室蘭工業大学の人事に関する基本方針に掲げられた目標を達成するため、原則として40歳未満の教員(*)を採用する。
- ・次世代育成支援及び女性活躍推進のための事業主行動計画に掲げられた目標を達成するため、女性教員の採用を積極的に推進する。
- ・昇任人事については、領域等からの人事計画を精査したうえで進める。

*40歳未満の教員：令和7年度末時点で39歳以下の者

資料 3-1 令和7年度の教員配置計画について

資料 3-2 令和7年度の教員配置(案)

資料 3-3 令和7年度会議日の予定表

4 理工学部の入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)の一部変更について

桃野理事から、資料4に基づき理工学部の入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)の一部変更について提案があり、協議の結果、原案のとおり教育研究評議会に付議することとされた。

(主な協議内容)

理工学部の入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)に入学前に学習しておくことが期待される内容を追記する。

資料 4-1 理工学部入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)の一部変更について

資料 4-2 室蘭工業大学理工学部の入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)【変更案】

－ 報告事項 －

1 令和7年度における執行部体制について

学長から、資料5に基づき令和7年度における執行部体制について報告があった。

資料 5 令和7年度における執行部体制について

以上